

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 山形県新庄市立新庄中学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

所在地 〒996-0085
山形県新庄市堀端町5-81

E-mail sinjo-j@city-shinjo.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 138 名 女子 116 名 合計 254 名
幼児・児童・生徒の年齢 12 歳～15 歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「学校はそこで学ぶ児童や生徒とそこで働く職員を幸せにするためにある」を学校理念として、ESDの実践を通して生徒が生涯にわたって自立し、他の人と共生・協働しながら生きる力の育成を目標とした。

具体的には、自他の命を大切にできる心豊かな生徒、知恵を育み、たくましく生きぬく生徒、他の人とかわり助け合いながら学び続けていく生徒を育てたい生徒像として、①エネルギーに係わる活動、②地域の伝統文化、文化遺産に係わる教育、③食育に係わる学習、④国際理解に係わる学習を行った。

① エネルギーに係わる活動

別紙参照

② 地域の伝統文化、文化遺産に係わる教育

1年生の総合的な学習の時間に、ふるさとをより活性化させるために、人を集めるにはどうすればよいかを考えてきた。実際に地域の観光地を巡ったり、今年度ユネスコ無形文化遺産に登録された新庄まつりに参加することを通して、その魅力を伝えるポスター作成に取り組んだ。

③ 食育に係わる学習

保健委員会を中心に、食育に取り組んだ。本校は給食であるが、お弁当の日にはバランスの良い献立を自分たちで考え、自分でお弁当を作ったり入れたりする活動に3回ほど取り組んだ。

④ 国際理解国際理解に係わる学習

今年度はユニクロが行っている「届けよう、服のチカラプロジェクト」に参加し、ユニクロの店長さんから講演会をしていただいた。その後、JRC委員会を中心に、子ども服の古着回収に取り組んだ。特に、文化祭の時に地域の方にも呼びかけをして、協力をしていただいた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

別紙参照

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

・教育課程には具体的に位置づけてはいないが、各学年や教科で工夫して取り組んでいる。特に、エネルギー教育では年間計画を立てて各教科で取り組んだ。別資料参照。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

特に組織的かつ継続的に取り組んでいない。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

特に行っていない。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。（200字程度）

※チェック事項 2-2 に対応

エネルギー教育で実践発表を行った。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）
（200字程度）

※チェック事項2-3に対応

特に連携は取らなかった。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項2-4に対応

交流していない。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項2-5に対応

学年ごとに興味・関心を持たせたり、理解を深めたり、自分の考えを表現させるようなエネルギー教育を継続的に実施できた。例えば、今年度3年生では、1年時に火力発電所を訪問し、発電システムの実物を見学して発電に関する関心を高めた。2年時には、発電のしくみを電流と磁界という視点から学び、理論的に発電のしくみを理解した。3年時には、2年で学んだ電磁誘導を使って発電するしくみには複数あることを学び、エネルギーという視点でそれらをどのように組み合わせる使って行けば良いかということ考えた。

また、エネルギー教育を意識した授業づくりを実践する中で、各教科で学んだことが生徒の意識の中でつながっていく様子が見られた。例えば、2年時に、理科の消費電力や電力量を学んだ時に、理論的な理解で終わるのではなく、技術で学んだエネルギー変換や変換効率と関連していることに生徒自身が気づき、実生活ともつながりのあることだと実感していた。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

平成29年度と同様に、特にエネルギー教育では授業で、他は委員会や学年ごと協力して取り組んで行く予定である。